

## ◆ ◆ ◆ 申込手順 ◆ ◆ ◆

1. 願書書類はA 4 サイズのコピー紙で印刷してください。

2. 必要書類および写真等を用意してください。

①柔道整復師免許証のコピー 1 枚（※A 4 版に縮小または拡大する）

②受講試験手数料の振込み

③受講願書（書式 1） および調査書（書式 2 - 1、2 - 2）

④受講試験票（書式 3）

⑤履歴書（書式 4）

⑥勤務内訳表（書式 5）

⑦実務従事証明（書式 6）

⑧その他証明書等（開設届等）※必要に応じて

⑨写真 3 枚

⑩出身校（柔道整復師養成施設）における成績証明書又は卒業証明書

⑪レターパックライト

※依頼主（受験希望者の住所と氏名）と届け先（学校協会の住所と協会名）を記載する

3. 願書書類への記入、必要書類及び写真等が整ったら、①～⑨および⑩の書類等を出身校等の柔道整復師養成施設（以下「出身校等」という。）にお渡しください。

※願書書類等を渡す際にレターパックライトの[ご依頼主様保管用シール]をはがし、希望者が保管管理してください。なお、学校協会では送付された願書書類が到着しているかの照会に応じることはいたしません。

4. 出身校等は、調査書の 2 枚目（書式 2 - 2）の「出身校等記入」、「記入年月日」、「所在地」、「養成施設名」、「学校長名」を記入し、「学校長印」を押印して、成績証明書又は卒業証明書を発行したら全ての願書書類等（①～⑩）が揃っていることを確認して、これらを⑩レターパックライトに封入し、3月31日までに全国柔道整復学校協会宛て郵送してください。

※そろった願書書類等は、希望者には返還せずに出身校等より郵送願います。また、レターパックライトの[ご依頼主様保管用シール]が剥がしてあることをご確認ください。

提出期限は 3 月 3 1 日の消印有効です。

◆◆◆ 願書書類提出前の確認事項  ◆◆◆

- 柔道整復師免許証のコピー（A4サイズ）
- 成績証明書または卒業証明書等
- 保健所への開設届等（コピー可）の書類
- 受講試験手数料の振込み
- 必要な箇所に捺印
- 写真3枚を貼付
- レターパックライトの宛名書き（依頼主および届け先）
- レターパックライトの追跡サービスシールの保管管理

◆◆◆ 提出書類の記入上の注意 ◆◆◆

書式1  
厚生労働大臣指定柔道整復師学校養成施設  
令和 年度専科教員認定講習会受講願書

公益社団法人全国柔道整復学校協会  
会長 谷口和彦殿

字校協会記入欄

受講試験番号 番  
受験番号 番

写真貼付  
B5用紙  
の裏面  
正面向き撮影  
4cm  
5cm

協会受付欄

柔道整復師専科教員認定講習会を受講いたしたく、関係書類及び受講試験手数料を添えて申込みいたします。

	希望する会場のいずれかに○
受講試験会場	東京会場 ( )
	大阪会場 ( )

年 月 日  
氏名

注1) 受講試験を受けた会場が合格後の講習会会場になります。  
なお、受け付け後の会場変更はできません。

注2) 願書の書式2-2は本人が氏名記入の後、出身校等の柔道整復師養成施設（以下、「出身校等」という。）に捺印を依頼してください。

①柔道整復師免許証のコピー1枚  
（※A4版に縮小または拡大する）

②受講試験手数料の振込み

③受講願書（書式1）および調査書（書式2-1、2-2）

④受講試験票（書式3）

⑤履歴書（書式4）

⑥職務内訳表（書式5）

⑦実務従事証明（書式6）

⑧その他証明書等（開設届等）

⑨写真3枚

⑩出身校（柔道整復師養成施設）における成績証明書又は卒業証明書

⑪レターパックライト（依頼主と届け先が記載されたもの）

相付け庫分  
受講試験手数料の振込み  
郵便振替払込受領証を貼付  
（コピー可）

上部のみ相付けしたら、長い場合は下部を裏側に折り曲げて、氏名が見えるようにしてください。

**【書式1】受講願書**

①→ 証明写真を貼付（カラー又は白黒、3ヶ月以内撮影で脱帽正面向き）

②→ 受講試験の希望会場を選び○を記入  
**受講試験会場で選んだ会場は合格後の講習会会場になります。**

③→ 書類記入日と 希望者本人の署名及び捺印  
氏名の文字は柔道整復師免許証に記載された通りに記入

④→ 試験手数料の郵便振替払込受領証（コピー可）を貼付  
長い場合は下部を裏側に折り、名前が見えるようにしてください。

◎柔道整復師免許証のコピーは、**A4サイズ**にしてください。

【書式2-1、2-2】調査書

- ⑤→ 氏名、フリガナ、卒業養成施設名、卒業年度を記入
- ⑥→ 希望者本人が志望動機を記入
- ⑦→ あてはまる項目を選び○を記入、またはその他に記入

◎調査書の書式2-1は希望者本人が記入し、書式2-2は出身校等へ提出して記入を依頼してください。

その際に他の願書書類とレターパックも出身校等へお渡しください。

書式2-1

### 調 査 書

(フリガナ) ( )

氏 名 ⑤ \_\_\_\_\_

卒業養成施設名 \_\_\_\_\_

卒業年度 経路・年度 年度(専攻科・夜間部) 卒業

希望者記入

志 望 動 機	⑥
⑦ 受入れの予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専任教員として勤務する学校が決まっている ( )</li> <li>・専任教員として勤務したいが学校が決まっていない ( )</li> <li>・将来的に専任教員として勤務したい ( )</li> <li>・非常勤講師として勤務する学校が決まっている ( )</li> <li>・非常勤講師として勤務したいが、学校が決まっていない ( )</li> <li>・将来的に非常勤講師として勤務したい ( )</li> <li>・その他</li> </ul>

書式2-2

希望者氏名 ⑧ \_\_\_\_\_

出身校等記入 ( ) 出身校 ( ) 出身校以外

総合(併見)	⑨
特 記 事 項	⑩

上記の者を、厚生労働大臣指定自治体整備等学校養成施設令和 年度専任教員認定講習会受講希望者として調査書の記載に附与することを表明します。

年 月 日

所在地 \_\_\_\_\_

養成施設名 \_\_\_\_\_

学校長名 \_\_\_\_\_ ⑪

- ⑧→ 希望者氏名を記入  
出身校または出身校以外にチェック✓
- ⑨→ 出身校等において適宜記入していただきます。
- ⑩→
- ⑪→ 出身校等において記入年月日、所在地、養成施設名、学校長名を記入、学校長印を押印していただきます。



【書式5】勤務内訳表

書式5 勤務内訳表

氏名	( ) ( ) ( )		
柔道整復師免許証日	( )年( )月( )日		
勤務内訳			
<1> 勤務先名称			
代表者氏名			
住所			
電話番号			
入社(開設)～退社(廃止)	勤務時間(※必須)	勤務(開業)期間	勤務継続中の場合
昭和・平成・令和 年 月 日 ～ 年 月 日	週に 日 計 時間	年 月 日 ～ 年 月 日	5月末日の時点で 年 月 日
上記勤務先における 職務契約			
<2> 勤務先名称			
代表者氏名			
住所			
電話番号			
入社(開設)～退社(廃止)	勤務時間(※必須)	勤務(開業)期間	勤務継続中の場合
昭和・平成・令和 年 月 日 ～ 年 月 日	週に 日 計 時間	年 月 日 ～ 年 月 日	5月末日の時点で 年 月 日
上記勤務先における 職務契約			
柔道整復師免許証日以後で証明のある合計年数が 5月末日の時点で5年以上必要です。	<1>～<2>を合計すると 5月末日で計 年 月 日		

(注1) 上記の勤務は、開業書に記載されていること。  
 (注2) 勤務先<1>～<2>は書式5に記載されていること。  
 (注3) 希望者本人の施術所の開設期間を含める場合は内訳に記入し、保健所への開設届等(コピー可)を添付してください。

⑱→ 希望者の氏名とフリガナ、捺印  
氏名の文字は柔道整復師免許証に記載された通りに記入

⑲→ 複数の勤め先がある場合は、それぞれの勤務先名称等と入社～退社、勤務時間数、勤務期間を必ず記入  
特に週の勤務時間数は審査に必要となります。

現在も勤務を継続している場合の勤務期間は一番右の枠に記入

一番下欄に<1>～<2>の合計年月を記入

⑳→ 職名だけでなく、具体的な仕事や業務内容を必ず記入

◎希望者本人の施術所の開設期間を含めて5年以上の場合はそれぞれの該当期間に記入して、保健所への開設届等(コピー可)を必ず添付してください。

【書式6】実務従事証明

書式6 実務従事証明

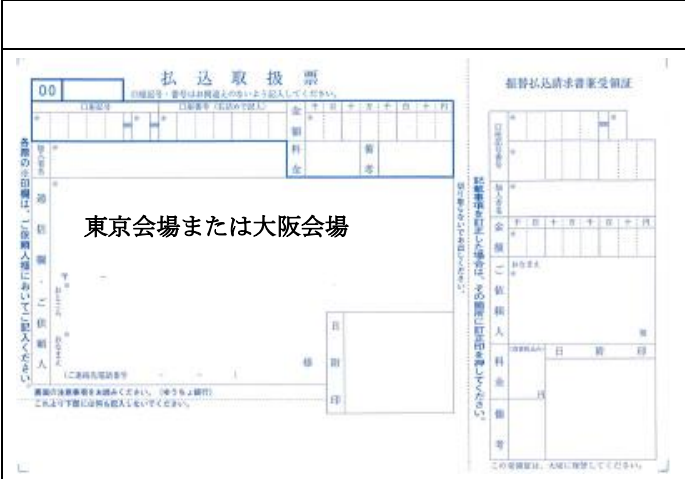
<1>	希望者氏名		
	勤務期間	昭和 平成 令和 年 月 日 ～ 昭和 平成 令和 年 月 日	( )まで勤務 ( )現在も勤務
	上記の者は記載の期間に柔道整復師として実務に従事していたことを証明いたします。 年 月 日		
<2>	希望者氏名		
	勤務期間	昭和 平成 令和 年 月 日 ～ 昭和 平成 令和 年 月 日	( )まで勤務 ( )現在も勤務
	上記の者は記載の期間に柔道整復師として実務に従事していたことを証明いたします。 年 月 日		

㉑→ 勤務内訳表に書かれた<1>、<2>の勤務期間についてはそれぞれの所属長に証明をもらってください。

◎希望者本人の施術所の開設期間だけで5年以上ある場合は書式5の内訳<1>に自身が記入し、保健所への開設届等(コピー可)はクリップ等でとめてください。

(開設証明がある期間分は書式6の実務従事証明の記入は不要です。)

◎勤務先が2か所で5年に満たない場合は、書式5と書式6の用紙を追加し、番号を<3>、<4>に書き直してください。  
2重線で消して使用して問題ありません。  
その際、書式4の職歴にも追記してください。

	<p><b>【払込取扱票】試験手数料の払い込み用紙</b></p> <p>郵便局の振込用紙を使用して振り込む場合は、住所、氏名、電話番号のほか上の余白に<u>受験希望会場名</u>を記入する。</p> <p>他の振込方法の場合も、<u>受験希望会場名（東京または大阪）</u>を入力してください。</p>
---	--

郵便振替口座      口座番号      00180-6-779458  
                         口座名称      公益社団法人 全国柔道整復学校協会

試験手数料                      10,000円      (手数料は希望者負担)

振込日                              3月31日までの振込日附印有効